

開催日	令和3年 11 月 25 日	時間	13:00～ 14:00	場所	役場 大会議室
会 議	令和3年度 第2回朝日村観光レクリエーション施設管理運営審議会				
内 容	マレットゴルフ場廃止の検討について				
<p><u>1 開会</u></p> <p>・委員6名出席</p> <p><u>2 あいさつ</u></p> <p><u>3 協議事項</u></p> <p><u>(1) 地権者との意見交換会の結果について</u></p> <p><事務局より説明></p> <p>会長 皆さんご意見があればお願いします。</p> <p>委員 943,400円という借地料に一番お金がかかっている。 借地料を安くできるのか、それとも話に上がらなかったのか、別の用途に使用しても借地料は据え置きでいきたいのかなど、地権者の方から借地料についてはどのような意見があったか。</p> <p>事務局 借地料については話をしていない。 基本的には廃止したいという方向性で進めていることを伝えており、その活用方法によりまた改めて協議を考えている。</p> <p>会長 地権者側からもその話は一切出なかったのか。</p> <p>事務局 地権者側からもそういった話はなかった。</p> <p>委員 地権者にしたら、値下げするのは嫌だと感じるだろう。 しかし943,400円という土地代はやはりネックになっている。 既に廃止の方向で検討していると公表してしまっているため、報道などを見た方は存続しましょうという意見にはならないと思う。 そうした方向付けになっている以上廃止していくしかないのではないか。</p> <p>会長 第1回の委員から地元の方からマレットゴルフ場は必要だという声は出ていないとの発言があった。地元の委員の方はいかがか。</p>					

委員

以前は地区体育デー等で皆さん利用していたが、体育デーで参加する人も高齢者が多くなってきた。

山のコース自体はよくても高齢者にはきついため、他のレクリエーション施設を使用しているため、マレットゴルフ場を利用する地区は少なくなっているのではないかと。

会長

全員の方に話を聞きたいと思いますので、順番にお願いできますか。

委員

他の委員からも出ておりますが、コースが大変急であります。

松本の鎖川の左岸沿いにマレットゴルフ場がありますがそこは割と利用率が高い。

高低差があるからアサヒマレットゴルフ場を改修するとしても利用者が来るかどうかわからない。

観光会でイベントがありましたが、イベントを実施すれば人は来るのは当然の話ではあります。土地の利用についてはもうちょっと考えていく必要もあるかと思えます。

会長

次の委員いかがですか。

委員

まず 200 万円ぐらいの経費が掛かっていて、利用者が 400 人、つまり 1 人が 1 回プレーするごとに 5,000 円がかかっている。

そのようなマレットゴルフ場は日本中探してもないと思うので、そういう意味からも厳しいと感じる。

地権者の方から施設の視察研究をしてほしいという話があったが村はどう答えたのか。

事務局

廃止ということで今回提案していますので、今はどこかの施設を視察研究する等は考えていない。

委員

考えているかどうかではなく、施設の変更は考えていませんと言ったのか。

副村長

そこに関しては、地権者の皆さんの思いを自由に語っていただきたいという意図があったため、明確な回答はしていない。

委員

地権者のお話を聞くと、できるだけ長く使って欲しい気持ちがある。

しかし、施設の大型改修を実施して集客を図ろうというようなことを考える時にはかなりの費用がかさむ。

そこで若い人たちがくるようなものができるか考えると大きな賭けのような状況になるのが予想される。

村としてそこにお金をつぎ込んでいかどうかは非常に難しい問題で、他のものに替えていくのは厳しいと思う。

マレットゴルフ場としての役割というのは終えたのではないかなと考え、廃止の方向も止むを得ないと思います。

会長

観光協会では10月にイベントを打ち、集客をしたところ30名定員のところ40名くらいの方があつまり大変好評でした。

利用者が少ない原因として、広報のやり方もあるため、まずはいろいろ実施してみるのも一つの対策ではないかと思う。

その中から方向性を探っていったらいいのではないかということで、マレットゴルフをプレーする方の声も聞いたりする必要性も含め、イベントを実施した。

ただ、今回のイベントについてはお土産付きかつ利用料無料であった。

村の施設としてはマイナスの面もあり存続は難しいのではないかと考えています。

いろいろ手を尽くす必要があるのではないかと考え1回目のイベントをしましたので、あと何回かイベントを実施することは良いのではないかと考えると、いきなりここで廃止というよりは地権者の方にも納得していただいて廃止の方向に持っていけたらいいと思う。

村に地権者との話し合いでどんなご意見あるのか聞いてほしいとお願いしたのは、どうしてもそこでお金が絡んでくるが、地権者は今までの収入が減り困るわけですから、話がそんなに上手く行くはずがないのでその辺も地権者と村と何とかしてほしいと思っているからである。

ここを1～2年近くコロナ禍でマレットゴルフ場に限らず、様々な施設の利用者が少ないのも事実でありますので、期限を切り集客の努力をしてみて、その結果将来の可能性がこうですよという話を地権者と話していただいて廃止の方向にもっていければいいかなと思っています。観光協会の立場としては施設を続けたいというのも一方であり、努力したら利用者が増えるのではないかという施設もいくつかあります。

例えば茶室なんかはいろんなイベントを何回か打ってきて、このところあの利用率が目に見えて増えている。そうした可能性がある方向を見つけ出していく、そうした方法を1度取ってみるってことも必要かなと考えられる。

(2) 近隣のマレットゴルフ場の状況について

<事務局より説明>

委員

村のマレットゴルフ場の利用者を見ると、令和2・3年度は400人程度に対して、令和元年度は800人ほどいる。

山形や麻績も同じように考えると、5,000人～6,000人程度と考えられると、非常に厳しいと思う。

平成の初め頃に施設が出来たが、その当時の農地は今価値が3分の1になっていることを考えると、この借地料は時代に合っていない。

会長

考え方として、賃料が無料でも存続もできないのか、安くなれば存続できるのかという議論もしなければならないと思う。

次の委員いかがでしょうか。

委員

やはりこの 943,400 円は非常に高いころ、バブルの時代の金額ではないかと思う。

土地としてもこの立地条件でこの金額であれば難しいのではないか。

会長

他に利用できるかどうか、スキー場の指定管理者から聞いた話だと、入り口にお墓がありかつ鳥獣柵を必ず開閉する必要があり他への利用が難しいのではないかと saying いたようだがそこはいかがか。

事務局

その通りで、観光施設としてはその2点がマイナスイメージになると saying いた。

会長

概ね廃止の方向については皆さん一致していると思いますが、貸借料が無料になったとしても廃止したほうがいいのか、存続を考えた方がいいのかについては皆さんの意見をお伺いしたい。

委員

やはり地理の問題があると思う。

安曇野のマレットゴルフ場は周りが宅地であったり工場であったりして、鳥獣柵は全然関係ない地形のところにあり、日差しもよく入っている。

時代に合わせて進めてもらいたい。

委員

基本的に私もやめた方が良く思います。

ただ、止め方はあると思うのでそこは上手にやってほしい。

跡地利用ができればよいが、話を聞くとキャンプ場も難しいほか、水道を維持するのにお金がかかる考えると最終的には止める方向でよいのではないか。

委員

私も止め方の問題だと思います。

もう1年～2年続ける中で利用者がどう出るかというのはありますが、それを見てから廃止するのもよいのではないか。

また、地権者との意見交換会の中では出なかったようですが、施設が赤字になっていることは分かっていると思いますので、貸借料の交渉や、2,000万円かけて現状に戻すといった内容に関しても地権者と話し合っただけであればよいのではないか。

委員

私も委員のお考えには近いと思いますが、方向としては廃止もやむを得ないと思います。

ただし、地権者の皆さんのお気持ちもありますので、現状というものをよく理解していただくということがまず大事かなと思います。

そうした中で話し合いをしながら、あの現状から考えてもしばらく会長が言われたように例えば1年あるいは2年の範囲で決めて、利用客の増加が見込めないような状況であれば廃止も仕方ないと地権者は考えるのではないのでしょうか。

委員

私も今の廃止意見には賛成です。

ただ、今はかなり感染症の感染者数が減ってきていますので、公民館としても体育デーも推奨していかないといけないこともあり、1~2年は様子見を見てもよいのではないかと考えます。

会長

委員の皆様ありがとうございました。私も同様の意見です。

ここで廃止ということではなく、期間を定めてその間しっかり努力をしてみる。

その間、地権者の皆さんにも見ていただいて考えていただくといった方法を村に考えていただければと思います。

2年後にまた考えると解決はしないので、2年後に止める方向で期限を定め、その間利用者が増えるよう努力を行い非常に好転するようであれば、考え方を変えるってことは可能だと思いますので、そうした方法が良いのではないかと考えています。

事務局

皆様ご意見ありがとうございました。

最終的な答申の内容について委員の皆様がお決めいただくことですが、今後2年間については廃止の基準を作って運営をしていくということで考えられていると思います。

ただ、水道水送水ポンプは更新に500万円の負担が必要になってしまうため、壊れる可能性があります。最低限の費用で済むよう実施していきたいと考えています。

会長

今回地権者との意見交換会はお金の話は全く出なかったようですが、その辺もやっぱり正面から捉えてしっかり話し合いはしていただきたい。

そうでないと解決はしないと感じている。

止めるということは地権者にお金が入らなくなるため、そうしたことを理解をしていただくためにもきちんと話をしていただきたい。

事務局

当然この審議会の中でお決めいただいて、正式に地権者にはその内容をお話することになります。

その中でお願いや交渉をするということになります。

会長

もっと、貸借料が無料でも難しいって話も正直にするべきだと思う。

その辺の大まかな方向性を我々が出しますが、細かい条件などの内容は村のほうで考えていただく必要があると思うのでお願いします。

事務局

承知しました。

(3) その他

委員

今回はマレットゴルフ場の話ですが、今村では公共施設等長寿命化計画があり、それを見ると5つぐらいの施設を取りやめるとあります、その中にもくもく体験館等も含まれていると思いますが、そのあたりの取り扱いは今後どうするのか教えて欲しい。

事務局

特に今、利用率が低くなっているのがもくもく体験館だと思っています
現在もくもく体験館は村直営の施設になっていますが、指定管理者制度を活用し、周辺の施設と一体的な活用方法が無いか模索をしている。
それが難しいとなれば今回のマレットゴルフ場と同じように審議会の中で審議いただいでいくと考えています。

委員

観光ビジョンの中では、もくもく体験館については廃止という取り扱いになっていたけれど、まだ村はその指定管理者制度の活用も含めて検討しているってことでよろしいのか。

会長

もくもく体験館は管理者が変わったと聞いているが。

事務局

以前は指定管理者がおりましたが、今は村直営となっています。
そのため観光協会が炭焼きの体験ができる施設として運営していますが、今の時代のニーズに合わない部分もあります。
もくもく体験館のニーズがあるかどうかを踏まえて、周辺施設の指定管理者とも協議し、別の方がいいとなれば、施設を全然違う方向で考えた方がいいと思いますので、様子を見たいと考えております。

会長

ありがとうございます。他にご意見ありますか。

委員

今回のマレットゴルフ場の貸借料が現状に合っていないじゃないかって話が出ました。
もくもく体験館も同じ頃に作られたと思うのですが、マレットゴルフ場が見直されていない以上、そちらもたぶん見直されていないと思うのでそちらの方の借地料についても減額等検討していただきたいなと思います。

事務局

委員のおっしゃる通りその他の施設についての借地料の問題については認識してございますので地権者と必要な協議を行ってまいりますのでお願いします。

会長

個人的意見ではありますが、もくもく体験館は大好きで商工会でも年に一度は使用していた。使い方は工夫すれば可能性はあるのではないかと感じている。

委員

もくもく体験館に関しては周辺にレクリエーション施設が固まっていますから、利用方法はいろいろ考えられるのではないかと。

会長

他に何かありますでしょうか。

事務局

今回の議論の中では、一定の方向性が出たということによろしいでしょうか。

委員

やっぱり基準も示していった方がいいと思いますのでそのあたりのところを検討して、次回出してもらえるかと思いますが。

事務局

本日まとめていただいたご意見をもとに答申を作成し、次回の会議でご検討いただきまして、その内容を持って村への答申にしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員

18日の地権者との意見交換会ででた意見については、6名の方は欠席されたわけですが、情報が共有されていますか。もしされていない場合はそのあたりも対応をお願いしたいと思います。

事務局

現時点では配っておりません。

地権者の方全員にご案内を送った際、欠席の方についてもご意見があれば記入して送っていただく形で意見はいただいておりますので、意見交換会の内容については地権者の方々に送付させていただきます。

会長

その他、特にないようでしたらこれで協議を終了します。

4 閉会

次回開催については、12月中下旬予定。

